

徳田の歴史-3

渥美徳兵衛さん

1/2



渥美徳兵衛翁の銅像

別名は徳田の徳兵衛さんとも言われ
皆に大変慕われていました

徳田集会所(弘法さん)敷地内に渥美徳兵衛さんの銅像があります。

建立は平成5年2月で、日本の有名な彫刻家長谷川八壽雄先生によって製作されました。

大きさは台座を含め奥行き、横、高さは約60×70×170cmです。

1、徳兵衛さんの生まれ

●江戸時代後期（徳川家斉公の時代、1773～1841）徳田村(町)で生まれました。

(詳細年月不詳)この徳田集会所のすぐ近くです。代々立派な財産家(庄屋さん)で

住んでいた屋敷一帯は広大で別名瀬古と呼ばれていました。



当時の屋敷跡付近
今は無縁の方が住んで見えます

2、どんなことをした人ですか

●私財を投じて農業事業に貢献しました。

橋や川や道を作り荒地を耕しました。

●大きな災害の時(天保の飢饉等)自分の米蔵を開いてお米を人々に分け与えました。

●大変信仰心が厚く近在の神社、仏閣への寄進は言うに及ばず金毘羅さんや高野山さんにまでも浄財を寄進しました。

●大変熱心な教育家で近所の子供達を集め読み書きそろばんを教えました。

3、徳兵衛さんの晩年

●江戸(東京)に出て商人になりましたが1837年2月江戸で死亡と記録にあります。

●徳兵衛さんには子供がいなかったので徳兵衛さん7代目で家系は滅びました。

●屋敷などの財産は全て親戚、縁者に譲ったそうです。

2/2

- 菩提寺は畑地区にある西光寺さんで今も住職さんや檀家の人達によって手厚くお守りされています。



菩提寺である
西光寺本堂



徳兵衛さんと
その一族のお墓

※徳田町のために農業事業等に大きく貢献してくれた徳兵衛さんを
今も町民は大変誇りに思っています。

※H27年6月地元小学校生徒の町探検授業の一環として説明会を実施済み。

※参考文献として“市制50周年記念事業”の資料等を参照。